

令和5年度 第1回買物公園エリアプラットフォーム会議 会議要旨

【開催日時】

令和6年3月19日（火） 14:30～16:15

【開催場所】

旭川市庁舎7階大会議室A

【参加者（敬称略）】

赤松 昌輝, 草野 常幸, 久保 竜弥, 佐藤 祐哉, 四戸 秀和, 鈴木 伸治, 高橋 遼太郎, 長尾 英次, 中田 崇太, 蜂須賀 咲来, 林 亜優, 三浦 詩乃（Web）, 山田 直人, 旭川市

【会議資料】

- ・ 第1回 エリアプラットフォーム会議
- ・ 買物公園エリアプラットフォーム規約
- ・ 買物公園エリア未来ビジョン Ver1.0
- ・ 買物公園エリアにおける滞在空間設置・モビリティ活用の社会実験 実施計画書（案）

【会議内容】

1 開会

2 議事

① 買物公園エリアプラットフォームについて

- 事務局より、配付資料「買物公園エリアプラットフォーム規約」及び「買物公園エリア未来ビジョン Ver1.0」に基づき、買物公園エリアプラットフォーム（以下、「エリブラ」という。）の組織について説明。
- 参加者から、次のような意見があった。
 - ・ 今後、行われる社会実験の内容についても、エリブラで議論を行い、良いものにしていくことが必要である。
- 参加者の意見を踏まえ、エリブラの組織については、事務局の説明どおりに活動していくことが確認された。

② 買物公園エリア未来ビジョンについて

- 「買物公園のあり方検討会議」において決定された「買物公園エリア未来ビジョン Ver1.0」の案について、参加者から、次のような意見があった。
 - ・ エリブラの中で、それぞれが持ち込んできたアイデアをどのように意思決定していくかが重要。未来ビジョンの実現に向けて、提案した人がどのくらい責任を持って取組を進めていくことになるのか、議論が必要である。
 - ・ それぞれが自分の事として取り組めることが大事である。実際の取組とやりたいこととのギャップがなくなることで、より良いエリブラの活動ができると思う。
 - ・ 市主導になりすぎず、しっかり対話を続けて、官民連携のエリブラを目指していく必要があると感じている。

- ・ 買物公園において、モビリティをどのように活用していくかについては、今後も様々な議論や検討が必要なものであることから、未来ビジョンに掲載するモビリティの画については、現状でも違和感のない電動車いすの画などに修正した方がよい。

⇒ 電動車いすの画に差し替えるなどの修正を行う。

- 参加者の意見を踏まえ、買物公園エリア未来ビジョンについては、一部修正を加えたうえで、事務局の案どおりに決定することが確認された。

③ 社会実験（案）について

- 事務局より、配付資料「第1回 エリアプラットフォーム会議」及び「買物公園エリアにおける滞在空間設置・モビリティ活用の社会実験 実施計画書（案）」に基づき、現在の社会実験の案について説明。

- 社会実験の案に対し、参加者から、次のような意見があった。

- ・ 社会実験の実施に関して、エリプラにどこまでの決定権があるのか確認したい。意見だけを聴く場になるのか。決定権がないとしても、社会実験のやり方についてはエリプラの中で案として出していきたいと考えている。

⇒ 社会実験については、エリプラの一員である市が主体となって実施するものであり、社会実験をより効果的な内容とするために、滞在空間の配置や活用方法など、エリプラの場を活用して意見を伺いたいと考えている。

- ・ モビリティの実施に関して、アプリを活用する考えはあるか。

⇒ 社会実験の運営業務についてはプロポーザル方式による募集を行っているが、その中でアプリの活用を求めるよう、仕様書に定めている。

- ・ モビリティの効果検証において、回遊性や利便性を評価するような調査項目だけでなく、買い物や滞在空間の利用につながったことを評価する調査項目も入れ込んでほしい。
- ・ モビリティだけでなく、バスキングエリアについてもっと注目されるようにしてほしい。利用者が簡易的な手続きによってスペースを使用できることを前面に押し出すことで、エリプラの活動への理解も進むのではないかと思う。

⇒ バスキングエリアも大事な要素と捉えており、滞在空間が利用しやすいエリアになっているか、課題点などを調査して把握したい。

- ・ 買物公園が使いやすい空間になった効果を計測することについて考えはあるか。

⇒ バスキングエリアの出展者に対してアンケート調査を行うことを考えている。買物公園が使いやすい空間になることへのニーズをしっかりと把握したい。

- 社会実験の内容については、参加者の意見を反映し、今後も議論を続けていくことが確認された。

3 閉会